

第2回宮津まちづくり会議

日時：平成26年4月7日(月)

場所：宮津商工会議所 第5会議室

■ 協議事項

(1) 宮津地域の現状について

※別紙資料参照

(2) 将来的なまちの理想像について

宮津市の現状について情報の共有をしたうえで、将来的な宮津市の理想像について建設的な意見交換を行いました。

○近年、宮津市からの人口流出が増加している。働く場所の減少と共に人口も減少し消費も落ち込んでいるのが現状

宮津市には自然、歴史など多くの魅力がある。それらを中心に交流人口を増やし一定住、観光客増→消費増という好循環を作っていかなければならない

○自分達の仕事に誇りを持ち次世代に受け継いでいかなければならないかつその仕事に魅力を感じてもらわなければいけない。

○働く場所がなく、生活基盤（公共料金など）の料金が他地域にくらべ高いため定住が難しい。若者が希望を持てるまちづくりをしていきたい

○少子高齢化はどの地方でも避けられない問題。産業を育て交流人口の増加を！観光客の方に魅力ある商品、施設がないのではないかと

空き家を無料で明け渡す施策も検討

○宮津の魅力！食、魚などをもっとアピールするのはどうか？

市場の運営を誰が仕切るのか考えてほしい。観光客目線での営業をしていただきたい

○海外の観光客も少しずつ増えてきている。市民には当たり前だが魚、野菜のおいしさをアピールし、PRにもっと力をいれてはどうだろうか

○市街地の活性化。外国人観光客目線の標識などの整備

○京都縦貫道の開通を来年の三月に控え、これからもっとスピード感を持つべき。地域の受け入れ体制ができていないのではないかと？案内板の設置や市民の意識向上など。体験を通して学び 心と体に残るものはどうだろうか

○道の駅を活用した街づくり。ちくわ、かまぼこ等が海を見ながら食べられる小さなお店

が集まる街並み。行政、市民の意識の一体化。空き店舗の活用や若手の育成に注力すべきではないか

○市全体での意識向上が必須。(観光客、市民の)受け入れ体制を意識することが重要。
交流、定住人口の増加を目指す

○心の受け入れ体制の充実(ソフト面)

○自然などの宮津市の魅力!住んでよし、訪れてよしにしていかなければならない。もっとPRに力をいれるべきではないか

■ その他

【今後のスケジュールについて】

○月1回程度で会議を行う。

○今後は専門チームで具体的なテーマを検討する等、議論の進め方について事務局で検討したうえで、第3回会議で委員の方々の意見を伺うこととする。